

埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設などの大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

にんべ・はけいせき 人部・峡遺跡第13地点

調査地：朝霞市宮戸一丁目地内

期間：令和2年5月14日～7月3日

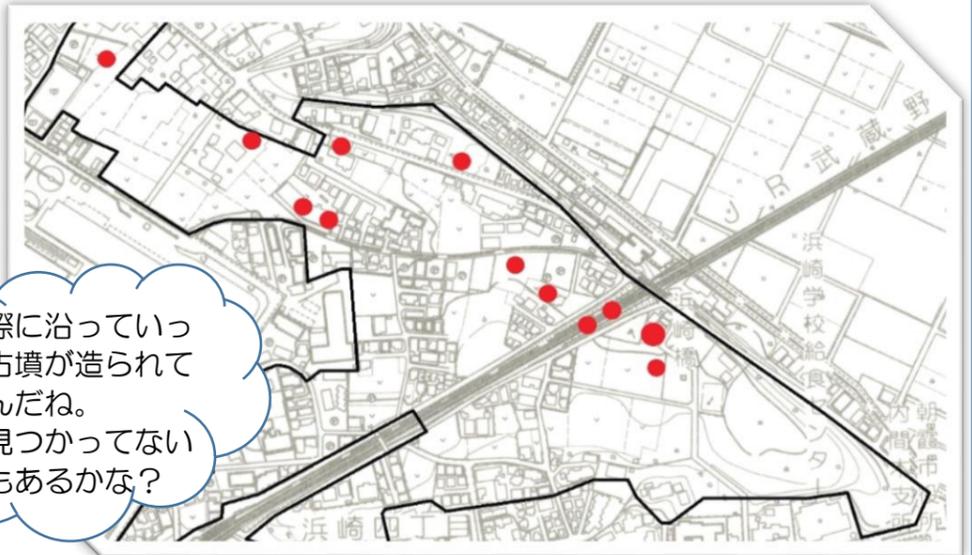
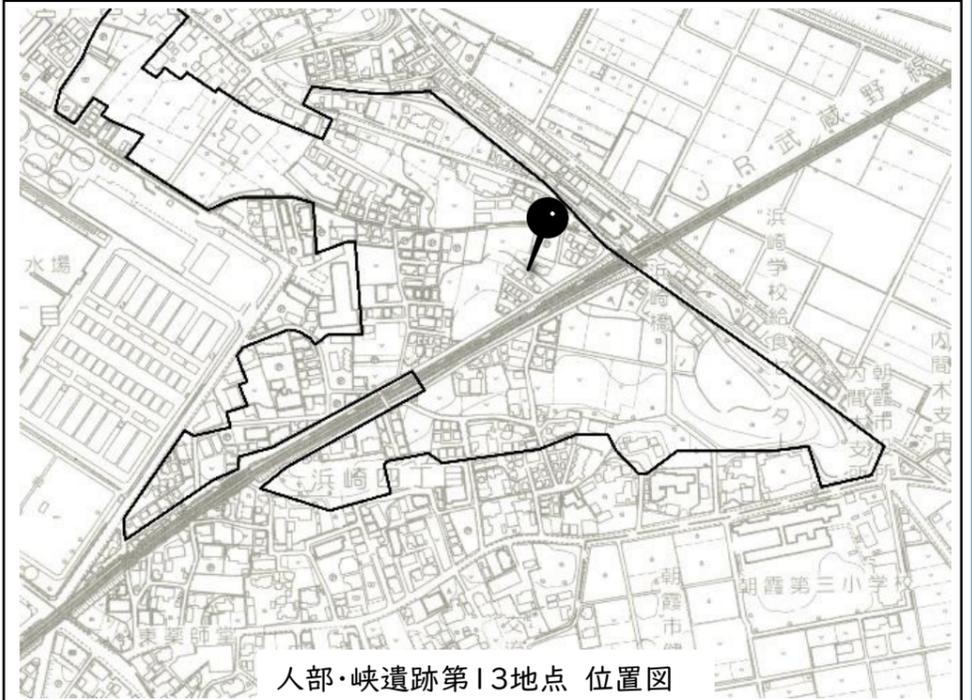
調査面積：205.54㎡

◆今回の調査では、縄文時代の屋外炉1基、土坑1基、古墳時代前期の住居跡2軒、古墳の周濠1基、中世以降の土坑ならびにピットが確認されました。

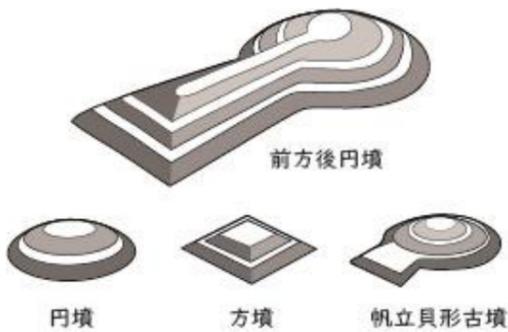
近年の発掘調査で、黒目川左岸の台地上から黒目川と新河岸川が流れる低地部を臨む場所に広がっていた「内間木古墳群」の様相が少しずつ判明してきました。

今回の調査で見つかった古墳の周濠も内間木古墳群をなす古墳の1基であると考えられます。見つかった形状から円墳と推測でき、周濠を含めた大きさは、直径約14.50mとなります。周濠内からは、時代が特定できる遺物は見つかっていないので詳細は不明ですが、古墳時代前期以降に築かれた古墳と考えられます。

人部・峡遺跡は、現在も発掘調査が行われており、13地点同様に古墳の跡も見ついていることから、今後さらに調査が進めば、在りし日の朝霞の風景がわかってくるものと思われます。



様々な古墳の形(抜粋)



崖の際に沿っていっぱい古墳が造られていたんだね。まだ見つからない古墳もあるかな？

©おさしのフロントあさか



検出された古墳の周濠